

西田小学校・同窓会 会報

発行者 西田小学校同窓会 編集責任者・田村晋一郎(2期生)



沢山のお客様で開催された「西田の丘フェス2017」

同窓会の持続のため

同窓会会長 中澤一郎(13期生)

本年、西田小創立75周年、同窓会設立25年を迎えホームカミングデーを計画しましたが、中止のやむなきにいたったことはご存知の通りで誠に残念でありました。実行委員会の落胆は1年間かけて計画をしてきましたので大きなショックでした。

さて、現在までの卒業生約1万1千人の60%は働き盛り、15%が22歳以下、25%が65歳以上です。クラス会や同期会は50歳を過ぎた頃から少しずつ昔を懐かしむ仲間が集まり開催しています。いろいろな社会参加の中で同窓会の活動が一番よいと思います。共通の話題で話がはずみ、職場環境とは違いしがらみの無い人間関係では新鮮な出会いがあります。

そして母校の生徒と一緒に楽しく、過ごすことがなによりです。同窓生の中には三代に亘って西田小卒も多くなっています。永い間のお仕事から開放された60歳以上の方に同窓会に関わり一緒にお世話をしてくださる方をお待ちしております。

来年10月に一年遅れの設立25年記念(学校創立75周年)ホームカミングデーを開催いたします。多くの同窓生のご参加をお待ちします。詳しくは来年夏に発行の「同窓会からのおたより」でご案内します。

西田小卒業したら、老い(88才)も若き(13才)も、仲良し同窓生！！！！

自分に帰る母港(母校)を目指して ～地域運営学校になって～

西田小学校校長 小堂^{つなし}十先生

「ツータ」は、子供の頃の私のあだ名。その当時、近所のガキ大将に付けられた名前。なぜ、この名前だったかを今考えると、ガキ大将の苗字が「オータ(太田)」だったから、名前の最初の文字を伸ばして最後にタをつけたのかもしれない。つまり、ツナシのツをのばしてツータである。今から考えると、非常に単純な命名方法であるが、オータの上から目線を感じないわけでもない。因みに、当時もう一人の友達ショージのあだ名は、「ショータ」だった。いつも、オータとツータとショータと一緒に遊んだ。いたずらも一緒にやって、叱られた。

子供の頃のつながりって、どこかはちゃめちゃで、時折喧嘩をして、知らぬまに仲直りして、いつもどこかに友達がいて、そんな自分を受け入れてくれる関係だった。

中学校は、同じメンバーでよその学校の生徒と一緒にいただけなので、私のあだ名は変わらなかった。しかし、友達が広がる中で3人のつながりは変わっていった。高校になると、いろんな学校から集まるせいか、私はツータと呼ばれなくなった。そして、成績や趣味が大きく影響し、知らぬ間にそれを基に人間関係が築かれていった。

社会に出ると、勤務先に同い年がいることは稀で、ましてや小学生時代の友達はいない。自分より先に勤めていた人は先輩となり、年下でも同期入社なら同輩になった。ツータというあだ名はここで完全に消え去った。

「ツータ」というあだ名は、正直あまり好きではない。だから、今さら呼んで欲しいとは思わない。だけど、小学生の頃、あの時代のあの空気を吸い一緒に生きた友達からは、ツータと呼んでもらえることが心地よい。お互いの立場を超え、何のしがらみも飾りもなく自分が自分であった時代。それが私の小学生時代であったように思う。

同窓会の人たちが、西田小で学校生活を過ごした頃は、どんなあだ名が行き交いしていたのだろう。きっと時代の流れの中で命名方法も変化してきたことだろう。現在、学校の中では「さん」付けが推奨され、人の名前で遊ばないという指導が一般的になっている。しかし、子供たちの生活空間では、ニックネームは飛びかっている。私の小学生時代を考えると、人権的に問題になるものも確かにあった。今、教育者という立場から考えると、とんでもないニックネームもある。あだ名には、そんなほろ苦さとそこはかとない温かさが同居している。

相手の立場や気持ちを考え、互いの心がうちとけられるような呼び名。そんなニックネームが行き交う学校。ユネスコスクールとして、誰もが元気になれる場でありたい。

みなさんは、何と呼ばれていましたか。



—同窓会のメンバーの回答では—

「じゃじゃいち」……じゃじゃ馬のようにはしっていた

「たどん」……黒くて丸かった

「なべ」……たなべから

「トマト」……丸くて赤かった

「ごっこ」……ごっこだった

学校行事から

★ 卒業式 平成29年3月24日(金)

今年は102名の児童が「西田の丘」を巣立ちました。母校の卒業生総数は 11,496名です。

今年も、卒業生たちは一人ひとり将来の希望や抱負を力強く述べて、出発です。心から卒業おめでとう。

★ 入学式 平成29年4月6日(木)

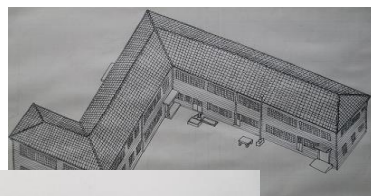
今年はNHKインターナショナルからの依頼でバングラデシュの放送関係者が視察団として出席されました。バングラデシュで全国放送する企画だそうです。

どの新入生も担任の先生のあとについてかわいく緊張しながら、会場のみんなの温かい拍手に迎えられ入場してきました。

★ 創立75周年記念児童集会 平成29年5月20日(土)

75周年という記念すべき日をお祝いし、記念集会を行いました。

同窓会として学校からのご依頼により全校生に75年前の西田小と昔の学校生活や学校周辺のお話をさせていただきました。



★ 運動会 平成29年6月3日(土)

一生懸命練習してきた競技や演技の発表です。赤組も白組も全力でぶつかりました。実力以上に力を出せた人、緊張して力が出せなかった人、それぞれ頑張りました。

4月入学の一年生も立派な演技を見せてくれました。



★ ブラジルユネスコスクール国際交流 平成29年6月13日(火)

ブラジルの教職員など 50 名の方が来校し、授業公開、歓迎セレモニー、給食体験など子供達との交流が盛大に行われました。子供達の積極的な交流は目を見張るものがありました。

保護者による通訳ボランティアも活躍されました。



★ 西田フェスティバル 平成29年7月8日(土)

毎年恒例の子供達の子供達が楽しむフェスティバルが開催されました。

子供達のアイデアによる手作りのゲームや出し物です。

★ サマーキャンプ 平成29年7月15日(土)

今年は1日のみの開催でした。同窓会は夜6時から8時まで子供達と竹馬づくり、科学実験、ドミノ、輪投げなどで一緒に遊びました。その後はメインイベントである「花火大会」を楽しみました。



竹馬づくり



輪投げで賞品ゲット



ドミノ750個



不思議な音の世界

★ オイスカ国際親善大使との交流 平成29年9月4日(月)

オイスカ・インターナショナルは、「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指して1961年に設立されました。

本部を日本に置き、現在34の国と地域に組織を持つ国際 NGO です。インドネシアとフィジーの子ども親善大使と交流しました。

世界で「森を育てる」「子どもを育てる」子どもの森計画についてのお話も聴き、お互いの国の学校・文化・食べ物・また災害についても学びました。



★ 学習発表会「西田美術館」 平成29年11月11日(金)12日(土)

体育館一杯に子供達の作品が並びました。展示発表会です。

今年は学校支援本部の企画でお勤めなどで昼にお見えになれない方のため金曜日の夜6時から9時までOPENし「トワイライトミュージアム」を開催しました。新井副校長先生作成の校舎へ映し出されたウォールプロジェクションマッピングも見事で、素晴らしいの一言！来場者は夜の部600名にもなり盛り上りました。

同窓会では片山登、坂本正夫両氏が受付を担当ご苦労様でした。



★ 西田の丘フェス2017 平成29年11月23日(祝)

表紙を飾った、第二回「西田の丘フェス2017」が地域と学校を結ぶイベントとして盛大に開催されました。

このイベントは学校を中心に同窓会と支援本部が企画し、地域の町会・自治会・商店会様にご協力をいただいております。今年の出演団体は8チームと豪華でした。4人の先生が結成したバンド「モッチーズ」に校長先生(ゴスペルチーム)、副校長先生(バンドでトランペット)も出演され盛り上がりしました。ゆう杉並ダンス・ボーカル(中高生チーム)、松溪中吹奏楽部、支援本部長参加のフラチーム、ウクレレ奏者「どぶゆき」さん、URP(アンリアルプロジェクト)さんなど多彩な顔ぶれでした。最後は会場全員で「ビューティフルネーム」を歌って賑やかに閉会。楽しい一日でした。

保護者の方・学校支援本部・同窓会でご協力をいただいた皆様にお礼を申し上げます。

★ 「昔遊び」土曜授業 平成29年12月9日(土)

学校支援本部が毎年実施しています。1年生を対象に、けん玉、コマ、あやとり、羽子板、おはじき、お手玉、ビー玉を子供達に教えながら一緒に楽しみます。同窓会は檜枝、中田、中澤がお手伝いしました。檜枝さんがベーゴマを持参して初めて見る子供達を驚かせていました。



懐かしいベーゴマ

同期生よ集まろう！！

7期 同期会(傘寿)

7期生(S25年卒) 中村 昭

本年6月2日、中央線西荻窪駅南口 こけし屋にて、7期生(昭和25年卒)の同期会を行いました。出席者は1組が石寺、宇田川一浩、宇田川利満、桑原に、2組から宇田川茂吉、小嶋、棚澤(久しぶりの出席!)、田原、橋本、細田、浅沼、猪原、近藤、中野、中村(なお、いずれも旧姓)の合計15名でした。

前回、元気に出席していた長谷川義朗君が昨年亡くなっており残念です。卒業生は110名がいたことを考えるとこの出席数はいささか寂しい(もっとも、故人は、判っているだけで20名)気がしますが、傘寿を迎えることになる世代なので仕方がないのでしょうか。

岸上先生は参加の意欲をお持ちでしたが、退院直後だったので、欠席になりました。

(その後、8月1日にご逝去の報がありました。行年91才。私にとっては、学生生活を通じて一番記憶に残る先生です。ご冥福をお祈りいたします。) 近況報告に移り、現役でバリバリで働いている人、テニスや海外旅行にいそんでいる人も多少いましたが、大半は、高齢化による諸現象の愚痴のこぼし合いで時間が経過したように思います。かつて、岸上先生から、おまえらは、「戦争により身体的にも生活面でも一番影響を受けた子供たちだ。」(終戦時2年生)と言われたことを思い出しました。

確かに、卒業写真を見ると、体は貧弱、また、靴がお粗末で、中には、草履やはだし姿の人もありました。

今回は2年後ですが、今回以上に沢山集まれるよう祈る次第です。

13期 ミニ同期会

13期生(S31年卒) 幹事 浅野 宏(代:中澤)

平成29年12月9日(土)新宿「随園」で毎年恒例の同期会が開かれました。

毎年開催している継続性が大切で、はじめは6年3組だけのクラス会だったのが、幹事浅野君のお陰で1組、2組、3組からも参加し今やミニ同期会として参加者も増え楽しく開催しています。来年は先生もお招き出来ればと思っています。



後列左より:中田、志摩、守屋、野口(杉)、
東條、井手、竹内、浅野、井草
中列左より:福井(滝澤)、野口(並)、半澤(吉田)、
井口、青池(五味)、
前列左より:田名網(柏木)、小林(内藤)、
田苗(中川)、渡辺、斉藤(山本)、中澤

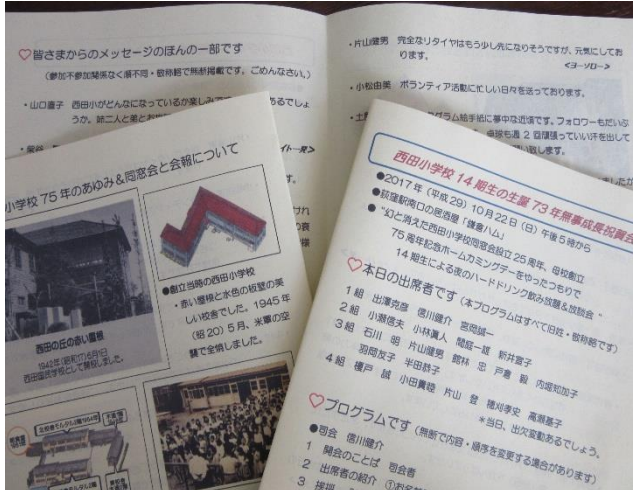
14期 同期会

14期生(S32年卒) 小林 真人

『雨にも負けず、風にも負けず、総選挙にも負けず・・・』

2017年、平成29年10月22日、私たち西田の卒業生はこの日を一生忘れないでしょう。人間というものは、楽しかった思い出よりも悔しかった思い出の記憶残存率が極めて高いと言われていますからね。同窓会設立25周年、母校創立75周年を記念した「ホームカミングデー」に合わせ、14期は3年振りの同期会を企画しました。西田の丘での再会は実に卒業以来だし、終わってからの荻窪での飲み会で“徹底的に呑むぞ”って、早くからアドレナリンが噴出していました。ところが9月に入るや永田町からもっと強いアドレナリンが暴発、「ホームカミングデー」はぶっ飛ばされたのです。久し振りに母校に行って昔を回想したい、変容したであろう周辺の様子や懐かしい通学路も見てみたいという願いもむなしく、母校は総選挙投票所と化して壁が築かれちゃいました。

ホームカミングデーが無いのなら、同期会に行くのは止めようと悩んでいる友人もいるだろうということで、再度連絡を出したところ、同期会に行かないという友人は一人もいませんでした。催行決定。が、世の中そんなに甘くはないんですね。総選挙は超大型台風21号もすでに呼び込んでいました。同期会開始は台風上陸予想時の午後5時、大阪在住者はじめ交通に影響が出そうな友人は出席をあきらめざるを得ませんでした。この台風じゃ結局中止だろうといぶかりつつも、とりあえず行ってみるか完全装備で来た友人、骨折したんだけどどうしても出るという決意で傘を差し、歩行器を使ってまでして階段を上ってきた友人。集まった18人、皆等しく、「雨にも負けず、風にも負けず、総選挙にも負けず、欲はあり、いつも騒いで呑んでいる、そういう73才に私たちはなっちゃった」ということで、すこぶる元気です。



(左) 当夜のプログラム『西田小学校14期生の生誕73年無事成長祝賀会』(右) まともに撮れた1枚
・副題“幻と消えた西田小学校同窓会創立25周年、母校創立75周年記念ホームカミングデーをやったつもりで14期生による夜のハードドリンク飲み放題&放談会”
・会場: 荻窪駅南口「鎌倉ハム」5時～ ・呑み騒いでいたら台風はしばらく静かにしてくれました。

16期 6年1組 クラス会

16期生(S34年卒) 小池 達哉

年に一度の恒例のクラス会。今年は幹事都合により、ちょっと早めの暑気払いを兼ねて、平成29年7月15日に同級生の亀田さんのお店「あんだん亭」で開催しました。いつもより少ない15名の出席でしたが、初参加の大竹稔君、11年ぶり参加の関あい子さんの出席もあり、例年通りの盛り上がりでした。午後4時に開始した一次会から話が弾み、二次会のカラオケ終了は10時過ぎ、さらに飲み足りない(?)4名は三次会へ。皆さん昨年、古希記念のクラス会をした仲間とは思えない元気さでした。また担任の大塚朝子先生のご主人で昨年亡くなられた大塚常三郎先生(私たちの卒業時は6年3組の担任でした。)が生前に焼かれた、抹茶茶碗40個を、お嬢様のご厚意で送っていただきましたので、出席者で先生を偲びながら頂戴いたしました。

後列左より: 帰山、国定、一力、大竹、市橋、岡田
関、新倉
前列左より: 後藤(内山)、吉川(山下)、輪島(遠藤)、
加藤(松尾)、亀田、小池



17期「古希の祝い」開催します参加者募集中！！

西田小17期生・古希記念同期会のご案内

1960年(昭和35年)3月卒

都の西よ 森はしげり・・・で始まる校歌、その歌声とともに西田の丘を巣立って57年の歳月が過ぎ、古希を迎えます。ベビーブームの中に生まれ、育ってきた団塊の世代の私たちは、社会に大きな変化と経済の発展をもたらし、時代を担ってきました。多くの友と競い合い、励まし合ってきた時代のページは今でも懐かしい思い出になっています。そんな仲間たちと古希を記念した同期会を盛大に行いたいと思います。同期会名簿の把握は卒業生の半数にも満たない状況ですので、同窓会だよりのご案内を皆様のご兄弟姉妹の方々にお知らせください。一人でも多くのご出席をお待ち申し上げます。

17期古希記念同期会のご案内は各クラス幹事より、来年1月上旬に発送予定です。ご案内が届いていない方の住所等が判明しましたら、ご面倒でも下記の担当幹事までお知らせください。会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

古希記念同期会

日時:2018年(平成30年)2月25日(日)午後3時より

会場:新宿 ハイアットリージェンシー東京

会費:10000円

担当幹事:同期会総括幹事、西田小同窓会理事

杉並区荻窪3-46-13-101

かふえ&ほーる with 遊

田辺恵一 電話03-6661-2336

携帯電話080-5099-0611

メール:tanabe3911@mail.bbexcite.jp

来年は 8期(S26卒)傘寿 11期(S29卒)喜寿
18期(S36卒)古希 28期(S46卒)還暦

皆さん、是非ともこういう機会に集まりましょう！！

還暦

古希

喜寿

傘寿

先生を偲んで

岸上先生の遺稿

10期生(S28年卒) 河西 宏和

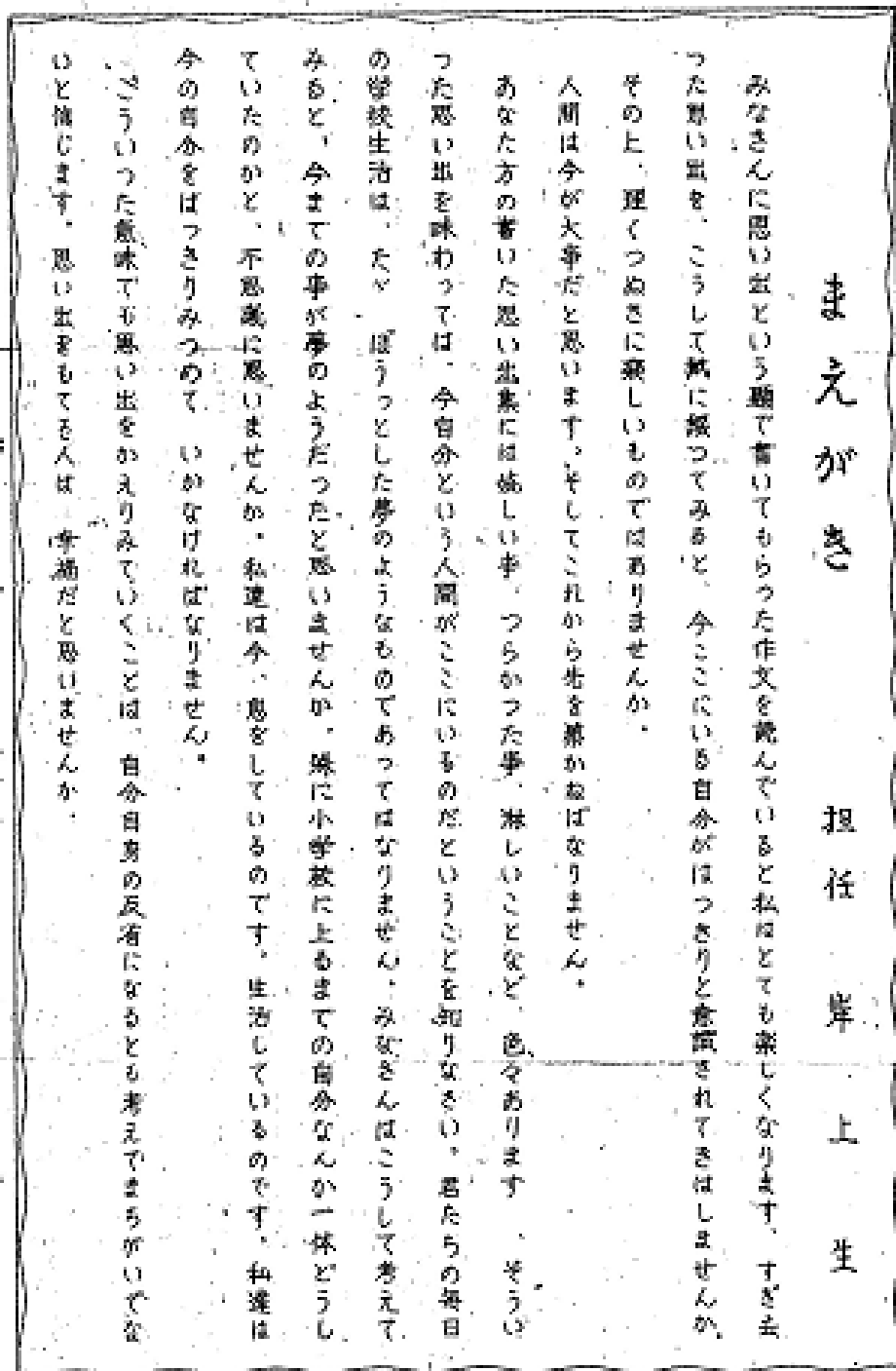
西田小学校で長い間教鞭を執られた岸上修先生が平成29年8月92歳でご逝去されました。

私たち昭和28年卒業の10期生は4年、5年、6年と三年間連続して担任としての先生から多くの教えを授けていただきました。ここに掲げさせていただくのは、昭和26年10月に私達5年2組が二学期のときに先生のご指導のもと「思い出」という題名で、全生徒が作文を書き、その作文集の巻頭に先生がしたための「まえがき」です。

若き日の先生の教育に対する情熱が^{ほとばし}る素晴らしい文章であると思います。

ここに、先生のご遺稿を紹介し、謹んで哀悼の意を表させていただきます。

(7期、10期、12期、18期、19期の学童が岸上先生にお世話になっておりました。)



昭和27年鉄筆で書かれた先生直筆のガリ版印刷

「すりげんこ」は人生の教科書そして愛情だった

「休み時間に女便所に行った者は、後ろに並びなさい」と信州訛りの甲高い声が、教室中に響いた。男子生徒の15名ほどが、覚悟をきめて壁際に並んだ。トイレに親指が落ちていたとの噂に乗せられて、女子トイレを占拠した罪である。右から順番に「すりげんこ」の罰が加えられた。「すりげんこ」とは、擦り拳骨と表現するように、決して殴打するのではなく、握りこぶしで相手のこめかみ辺りを擦りおろす一種の制裁だ。力の入れ具合ではダメージがあり、一番重い罰だった。常連のA君、B君、C君はその都度「今日は強かった」とか「優しく撫でられた」とか感想を言っていた。先生は、「すりげんこ」の罰の原因を本人には説明しなかった。しかし、生徒達は納得していた。理不尽な事柄はなかったからだ。同窓会では、「すりげんこ」が話題になる。ある同窓会の席で、A君が言った「先生に呼ばれて、僕一人「すりげんこ」を受けたんだ。咄嗟にその原因を理解できなかった。だけど、高校生になって、突然にその理由<内緒にしておきましょう>がわかった。「すりげんこ」は、人生の教科書だよ。先生は、強い生徒や賢い生徒より、精神的にも肉体的にも弱い生徒に援助・助言惜しまない一面があった。D君は、体育が苦手。徒競走はいつも最後尾。ある日先生は「君は運動は苦手だけど、教え方は上手だよ。運動会のリレー選手にバトンタッチの仕方を教えるように」以来D君は体育好きに。Eさんは病弱で休みが多かった。家庭訪問の際彼女の母親に「この夏の宿題はしなくてよい。体力を付けて9月に元気な様子をみせてください」以来Eさんは休みなし。F君は、内気で人前での話しが苦手。「運動会の応援団長をやってみないか。君ならできる。自信をもってやりなさい。」F君は、全校生徒の前で見事な演技を披露した。夏の林間学校で、日射病:今では熱中症:に罹ったGさんを献身の看病をした先生のことなど数多くのエピソードがあった。生徒の気質、体質を十分に把握していたからできたことだと思います。



後列左: 浜田、斉藤、猪原、笹本、神崎、
小林、朝川、河野、竹内、野村、
柏木、西本

前列左: 斉藤、北原、麻生、一針 岡田先生、
益子、根岸、斉藤、三木
(先生90才をお祝いの時)

同窓会: 忠七会: は卒業以来十数回開催。その席では、先生は多くを語らず、教え子達の近況報告に耳を傾け、時に「へっへ」と笑い、時には黒縁のメガネをはずし目頭を押さえることもあった。H君は、いつも先生の肩もみ役をしながら、座をもちあげてくれた。ある忠七会で、I君が妻の死亡を報告した時、ほとんどコメントしない先生が珍しく話し始めた「I君それはとても悲しいことだよ。僕も早く女房を亡くしたんだ。今でも寂しくて涙がでるんだ。特に秋の夕暮れは泣けてしまう。悲しい時は多いに泣くといい。愛する人がいないと寂しいよね」先生が参加した最後の会合は、H君のお世話でセルリアンタワー東急ホテルで開催した。閉会后、先生は一人ひとりと握手を交わした。Jさんは「とても柔らかい手だったわ。」と言い常連のA君に向かって「すりげんこは痛くなかったでしょうね。あれは先生の愛情だったのよ」A君は、黙って頷いた。先生は、現役時代から99歳で亡くなるまで三鷹市下連雀の都営住宅に居住。「息子達に迷惑をかけたくない」と言って、転居を希望しなかった。僕らは「愛妻と苦楽を共にした場所だから離れたくないんだ」と思っている。先生の居宅を訪問したK君。長寿の秘訣を、出前の信州蕎麦をご馳走になりながら聞かされた。早起き・乾布摩擦・信州味噌汁・庭の手入れ・早寝を欠かさずすること。

5坪ほどの庭には、Lさんから贈られた金木犀が毎年良い香りを漂わせている。息子さんのお話。亡くなる半年前から意識は薄れてきました、「お父さん」と話しかけても反応しません。ただ「岡田先生」と声をかけると、目を動かし反応します。不思議ですね、先生は、奥多摩あきるの市内のお寺に愛妻と共に眠っています。「教窓院戯童忠勤居士」が先生の戒名です。住職のお話では、「子供と一緒に遊び学ぶのが、人生の信条との先生の思いからこの戒名をいただきました」

同窓生の広場

日野原重明先生は永遠

9期生(S27年卒) 横田佳代子

2011年10月、日野原重明先生が創設に貢献されたマサチューセッツ州にあるジョン万次郎友好記念館を訪れました。「日野原先生がお見えになりその椅子にお座りになって、100才の誕生日をお祝いしたのですよ」と館長夫人がにこやかに言われました。1958年から8年間、日本国際医学協会に勤務させていただきました。後に独協医科大学の初代学長になられた石橋長英理事長は、医学と食事と心を大切にされる若き日の日野原先生を高く評価され、パネラーとして度々お招きしました。日野原先生は会員でもあり8年間毎月、先生にお会いできました。2012年1月に、100才まで元気に……食事、運動、社会参加を理念に、「夢の会」を仲間達と創設し、文化のイベントとお店を商工会議所で毎月一回開催しています。2012年5月、藤沢で日野原先生の100才記念講演会が開催された時、100名を超える友人達が出席しました。日野原先生からお電話をいただき、にこ



やかで、春風のように優しい日野原先生に藤沢市民会館の楽屋でお会いしました。「私の母もまもなく100才で元気に絵を描いています」と申し上げると大変喜ばれ、母を「新老人の会」の名誉会員に推薦してくださいました。

2015年、藤沢で日野原先生の103才記念講演会が開催され、先生の作られた「新老人の会」の世話人のお役をいただきました。2017年、慶応宗教研究会の宗教研究第30集にタゴールを中心とした「平和に向けて世界の宗教協力」の論文を掲載していただきましたが、日野原先生はインドの詩聖で、アジア人初のノーベル文学賞受賞者、タゴールを心から尊敬しておられました。2017年7月29日、日野原重明先生は天寿を全うされ、105才でご逝去されました。「新老人の会」の神奈川支部ニュースに追悼文「日野原先生とタゴール」を掲載していただきました。インドの詩聖であるタゴールについて日野原先生は「賢人」として次のように語られました。「タゴールは81才になる前、「最後のうた」を作りました。「次の誕生日にはこの世にいないであろう。与えるべき全てを与え尽くしたので、今はからっぽになった頭陀袋^{ずたぶくろ}を背負っている。その返礼として愛と許しが得られるなら、それを携えて旅立とう」という、心が洗われるような詩です。死の近づいた者に大切なのは心の友であるという意味が込められています。日野原先生も105才の人生において、与えるべき全てを与え尽くし、多くの心の友に愛され、愛と許しを得て、旅立たれました。先生は語られました。「人間の魂が死後も永遠の世界にずっと続くと言うタゴールの考えは東西が合一する宗教的な考え方です。」日野原先生の魂も永遠に優しい微笑みで私達をお導き下さるでしょう。「人間の命を素晴らしい感性で表現した作家、タゴール達の作品に触れることによって感性が豊かになります」と、日野原先生は教えられました。これからも感性豊かで、命を大切にされた日野原先生の教えを实践させていただきます。「夢の会」も7年目を迎え、類は友を呼び、心と、食事、運動を大切に思う人が集まり、105才まで日野原先生のように元気で社会に貢献したいと願う人達の集いになりました。

私の母も元気でいつもにこにこして、有り難う、有り難うと105才を迎えました。

文化財保護活動にかける

21期生(S20年卒) 杉本 洋

「貴重な美術工芸品は環境や経年で劣化する」かつて日本では襖や掛け軸といった美術品は頻繁に表装を直すことで保存して来ました。刀剣も定期的に点検して錆の小さいうちに取り除いていました。美術品は適切なメンテナンスが必要です。しかしながら、日本の文化財保護の実態は他の先進国と比較すると大きく見劣りする文化予算額であります。(日本の予算は約1千億、フランスは約4.6千億、お隣韓国でさえ2.6千億)例えば奈良県五條市にある栄山寺。こちらには国宝指定を受けた文化財を二つも所持している由緒正しい寺院だが残念なことに国宝の八角堂内の壁画は剥げ落ちており手当てもされていないのが実情です。もちろん文化財の

保護には資金だけでなく、実際に保存・修復する技術を持った人材も重要です。しかし、人と云うのは育つまでに時間がかかります。果たして文化財の劣化のスピードに付いていけるのか現場では人材の育成が急務となっています。首都圏では始めて横浜美術大学が専門の修復師養成のためのコースを新設し、大々的に修復師の育成に取り組み始めます。劣化する文化財を救うには十分な文化予算の確保という国の支援と文化財を守るための人材育成が重要です。東京新聞に掲載された「だんろん」のなかで、杉本さんはこのように述べられておられますので記事の抜粋をご紹介します。

杉本洋さんは同窓会報17号でご紹介した日本画家です。ご自身の作品制作のほか、美術品修復を横浜美術大学特任教授として指導されるなど幅広く、保護活動を進めています。

＜プロフィール＞

東京芸術大学日本画科卒業、同大学院研究科修了。横浜美術大学教授。出雲大社大阪分祀神殿襖絵制作。秋篠宮家扇面制作。京濱伏見稲荷神社参集殿壁画制作。當麻寺(奈良県葛城市)天井画制作。文化庁文化交流使に指名される。青梅市と奈良県五条市にアトリエを構え活動。

会員からのメッセージ

会員の皆様からのメッセージです。お元気でいろいろな分野でご活躍の様子や古い同級生の思い出などいただいております。会報発行が年1回なので、時間のずれと字数の関係で文字割愛をお詫びします。(敬称略)

- 長谷川博一 1期:85才息しているだけ。交通整理のご父兄ご苦労様。西田小、まだ相撲大会やってるかな。
- 北岡靖博 3期:3期の希望者でヴェルディ「椿姫」に行くことになりました。
- 大桃洋一郎 4期:現在伊豆熱川駅近くのマンションで1人暮らしです。本を読むだけ、それも手当たり次第何でも。近頃は宇宙に興味があります。亡妻の魂がエネルギーの塊となって宇宙のどこかにいるような気がするのです。
- 志甫 博 5期:80才すぎてふわふわと暮らしています。この1・2年の間に同期有志の集まりが吉祥寺でありました。場所がわからず大分遅刻しましたが楽しい一日でした。
- 西野喜久子 5期:28年3月に私ども5期は傘寿になったので、福岡から中村君、岡山から朝山さんも上京され男性4名、女性7名で老人とは? 思えないほどみなさんお元気で楽しい会でした。同窓会設立25周年おめでとうございます。私ども5期生もスタートのときいろいろとお手伝いしたことを思い出します。82才現役主婦で頑張っております。
- 都筑孝夫 6期:田村晋一郎さんは小学校登校時の班長さんでした。同窓会活動で頑張ってくださいありがとうございます。北岡靖博さんの弟さんとは同級生でした。
- 遠藤竹彦 6期:同窓会の会報で懐かしく粕谷先生の近況のご様子なにより嬉しい限りです。私もそこそこケアしながらの日常です。先生のお元気に見習って過ごしたいと思います。
- 赤根永子(清沢) 6期:お蔭様で元気に過ごしています。ボウリング、フォークダンスはずーっと続けるつもりです。ライブにもはまっており特にデキシーランドジャズは好きですネ。
- 花井景彦 7期:元気です。
- 永田澄子(野口) 7期:新しい年、主からたくさんのお恵みを頂いてご多幸とご健康をお祈りします。また、いじめの無い日本の国をみんなで努力して築きましょう。
- 浅野純子(浅沼) 7期:私は相変わらず海外へ旅行して、写真をインターネットの旅旅ビレッジに提供しています。ご覧いただきたいと思います。また、スポーツも続けています。
- 宇治川多嘉子(山形) 9期:ホームカミングデーに行きましょう。
- 大森寿和子(鈴木) 9期:ご発展をいのります。
- 志村洋子(山口) 10期:きょうだいで参加(ホームカミングデー)したいと楽しみにしています。
- 大森達雄 10期:荻窪駅の北口に用件があり行きました。昭和 27 年当時南口駅前にあった「カメラの

キヨシ」が北口のビルのなかで見つけ懐かしかったです。

- 小澤勝子(森下) 10期:元気に過ごしております。
- 武田喜一 12期:後期高齢者です。街歩きと里山歩きを友人と元気にしています。
—自然の恵み—八王子の里山に幼馴染が住んでいます。平山城址、長沼公園がある多摩丘陵です。大変不便な所ですが(友人が怒るかな?)でも自然が沢山残っています。近くには永林寺という禅寺があり広大な敷地を有しています。寺の裏手に廻ると斜面があり栗林になっています。春先になるとその斜面に「落の臺」が一斉に芽吹き始めます。
「天麩羅と落味噌で舌づつみ」。夏になると農家の庭先に「トマト」「きゅうり」「ナス」新鮮な野菜を安く販売しています。次は晩秋です。生垣や藪などに山芋の蔓がからみ葉が黄色に色づくとう実がなります。それをそつと手のひらに採り家に持ち帰って零余子ご飯です。少々塩を入れて作ると料亭のご飯です。ご存知とは思いますがお試しを!
- 佐藤光代(井上) 12期:早いもので荻窪を出て45年一筋に健康を伝えております。メディカルサブリです。皆様頑張って長生きしましょう。
- 執行伸宜 13期:元気にバレエの指導をしています。
- 辻喜代子(古沢) 13期:3人孫が西田でお世話になりありがとうございます。
- 中村 弘 14期:週1回卓球をしておりますが年男となりますとだんだんシンドクなりました。
- 渡辺知加子(内堀) 14期:8月16日のバースデー・・・戦後72年なので+1ですね。新しいことを探す日々也。
- 関 あい子 16期:元気にしてます。7月に6年1組のクラス会に参加しました。
- 石井恵美子 17期:同窓会の諸業務お疲れ様です。
- 福永陽子(西村) 18期:同窓会世話人・役員の皆様ありがとうございます。5年の3学期と6年生の1年と3ヶ月しか在籍してはいませんでしたが思い出深いです。まだまだ元気に介護施設でバリバリ働いています。元気だぞ～。
- 才田佳憲 18期:坂本様幹事ご苦労様です。いつまでも元気で!
- 小山田格 18期:キリスト教の牧師を続けております。教会は練馬駅の近くです。
- 近藤信治 18期:世話人の皆様有り難うございます。懐かしい西田で友に会えるのが楽しみです。
- 近藤直美(山田) 18期:多岐にわたりお世話様です。これからもよろしくお願いします。
- 挟間純子 19期:28年11月に総勢16人でクラス会を開きました。年々年を重ねて皆で会う回数を増やしたいものですね。
- 川浪陽子(石見) 19期:いつもご苦労様です。懐しく会報読ませていただいています。
- 大門千春 22期:図書館司書の資格、やっと取得できました。体力があるうちは世間とつながっていたいです。来年3月で65才になります。また人生の節目を迎えます。植木等の‘そのうち何とかなるだろう’見習って。
- 芦原正夫 20期:優に半世紀を超えて杉並へ戻ってきました。よろしくお願いします。
- 吉川三和子 22期:今年は私も65才になります。介護関係の仕事が続けていますが利用者側になる自分が前方に見えてくる・・・のかな?
- 下田康司 62期:現在博多に赴任中。時々地元へ帰省して同級生に会うのが楽しみです。

伝言板

- ◆ 一年遅れの25周年記念ホームカミングデーを2018年(H30)10月に西田小体育館で行います。今からスケジュールに入れておいてください。当日は楽しいアトラクションを用意します。親しい同窓生とお誘い合わせの上ご出席ください。
- ◆ 同期会のお知らせ: 昭和35年卒(17期)の古希祝い同期会 詳細 p7参照
- ◆ 転居/転居予定の際は会へご連絡をお願いします。





周辺探訪

杉並区立松溪中学校

“区民憧憬の学園はすぐお隣です”

西田小の卒業生が最も多く進学するお隣の松溪中学校を訪れました。平成22年、「地域に開かれた学校」をコンセプトに省エネ・エコスクールとして新築されました。このような中学校は区内にまだ3校しかありません。

●温かく開かれた学校

東の正門を入るとアリーナを収めた大きな校舎が目の前に現れる。4階屋上にプールを備えた堅牢な造りなのに威圧感はまったくなく、正門から玄関へと導かれる目線を阻害しないように建っている。校舎の壁の色がまたいい。まぶしい白垂でもコンクリートの打ちっ放しでもない、温かな人肌色である。一方、西の門からの訪問者は、これが公立中学校かと一瞬戸惑う。玄関前から空に伸びる長大な円柱は、下階部分を削り取ったような3階の大教室を扇形に支えている。教室が空中に浮かんでいる。そこは200人の食事もできるランチルーム。窓から差し込む柔らかな光が部屋中に溢れている。



正面玄関と3階ランチルーム

●真のコミュニケーションを育成する学校

玄関から定形の教室が長屋のように連なって廊下が一直線に伸びる。走り回ったり、馬跳びをやって教師から大目玉をくらったり、これが私たちの時代の校舎の思い出だった。今、長い廊下は見当たらない。1階から3階まで、さまざまな学びに対応した教室が中庭やテラスを囲むように有機的にしかも安全を考慮して配置されている。教室に沿い、その役割に合わせて狭まったり広がったり、また展示台も備え丸テーブルも置かれた領域は、メディアスペースと呼ばれ、大切なコミュニケーションの場となっている。

●木のぬくもりと本に囲まれる学校

訪問者の耳目を引くのは、なんといってもフローリングと板材壁の美しさ。アリーナからはバスケットボールの軽やかなバウンド音、裸足でキュッキュッと擦れる剣道のすり足も聞こえる。アリーナも教室も側面はすべて磨き込まれた板材がぴったりと天上まで組み上げられている。部屋に入った誰もが季節を問わず快適な空気が自分を包んでいるのを感じる(因みに全教室完全冷暖房です)。図書室、美しい木製書架から本を取り出せばそのまま座り込んで物語の世界に入ってしまうそう。

松溪中学は長年読書活動に注力し、平成20年度には読書活動で文部科学大臣賞表彰を受けている。読書で育まれる言語の力、探究心が確かな学びを支えているのだろう。



3階吹き抜けのアリーナ

寄り道 「西田ゆうゆうハウス」郷土資料室

昭和60年代から始まった全国的な生徒数の減少に伴い西田小学校の生徒数も減り、空き教室が他の施設に使われるようになりました。現在の南側校舎は管理棟で2階の一部が杉並区の「西田ゆうゆうハウス」として地元の方の利用施設になっています。昭和の昔の生活様式が展示されています。一度、小学校にお越しの際は誰でも入れますので覗いて見てはいかがでしょうか。郷愁を感じます。



ご報告など

役員会・世話人会より

◆平成28年度決算理事会(第94回理事会)

1. 日 時 平成29年6月4日(日)午後5時半～7時 かふえ&ほーる with 遊
2. 出 席 役員 9名
3. 内 容 ・定時世話人会協議内容の確認(28年度事業・会計報告、29年度事業計画・予算等他)

◆平成28年度定時世話人会

1. 日 時 平成29年6月18日(日)午後1時～3時 荻窪地域区民センター集会室
2. 出 席 世話人・役員 15名
3. 内 容 ・28年度事業・会計報告承認、29年度事業計画・予算承認 ・「同窓会設立25周年記念ホームカミングデー」実施(10月22日(日)母校体育館)承認 ・世話人辞任・副会長交代承認
・横川和則世話人(17期)辞任、長い間、ありがとうございました。
・澁谷副会長(理事継続)⇒小林副会長

◆西田小サマーキャンプ協賛

西田小体育館・校庭

1. 日 時 平成29年7月15日(土):今年度は1日のみの実施
・午後1時～未就学児童の遊びのお世話 ・午後6時～ 理科実験・竹馬制作・遊び・花火等
2. 出 席 世話人・役員 13名

◆平成29年度「同窓会からのおたより」発行・発送作業

1. 日 時 平成29年8月6日(日)午前9時半～午後0時 西田小家庭科室
2. 出 席 世話人・役員 12名

◆「同窓会創設25周年記念ホームカミングデー」企画から実施中止までの概要

1. 実行プロジェクト会議の組織化
・第1回発足会議 平成28年12月23日(祝)午後4時～7時 かふえ&ほーる with 遊
・プロジェクトリーダー田辺理事(17期)・総括中澤会長・世話人と理事を核とする・初回14名
2. 実行プロジェクト会議 平成29年9月30日(土)まで計7回開催。同日の会議で中止決定(総選挙)。

◆平成29年度臨時世話人会

1. 日 時 平成29年11月4日(土)午後5時～7時 かふえ&ほーる with 遊
2. 出 席 世話人・役員 12名
3. 内 容 ・「ホームカミングデー」中止に伴う費用発生に伴う件 ⇒ 郵送料承認
・1年遅れの「ホームカミングデー」実施計画 ⇒ 平成30年10月28日(日)頃、詳細計画は母校の平成30年度計画確立時(来年4月)に協議検討承認
・世話人の件 ⇒ 檜枝光太郎様(12期)新任承認、鈴木繁雄様(21期)協力者承認
・母校創立75周年への祝意 ⇒ 予算20万円の範囲で母校の希望品贈呈承認
・「学習発表会:トワイライトミュージアム」への受付協力 ⇒ 11月10日(金)夜間:承認
・「西田の丘フェス2017」協賛 ⇒ 11月23日(祝)前日準備、会場設営、当日運営、出演者昼食代補助等承認
・日本の伝承遊び協力 ⇒ 12月9日(土)午前9時～午後0時:承認
・来春卒業生イベントへの協力 ⇒ 平成30年3月10日(土):リレー大会懇親会補助承認
・「同窓会会報21号」発送作業 ⇒ 12月24日(日)午後1時～3時

維持会費制度について

- 維持会費制度は、基本的に任意です。極力、会員の皆様の^{わずら}煩わしさとご負担を軽くするため10年前に制度化され皆様方のご協力をいただいております。下記の通りです。



- ・維持会費は年間500円とし、5年分(2500円)を一括してお振込みいただきます。
- ・維持会費は卒業後概ね20年経過した時点での開始となります。

同封の千お振込み用紙(2枚)の記載方法は下記要領でお願いします。振込み手数料はかかりません。

- ・1枚は2500円の維持会費金額が記載され維持会費振込み用です。
- ・もう1枚は金額が記載されていないご寄付振込み用です。
- ・郵便局が遠くご不便な方のために新たに銀行口座を設けておりますので、振込み手数料はご負担願いますが、下記口座にてもご入金いただけますのであわせてご利用お願い申し上げます。この場合、振込人フルネームのうしろに維持会費は(01)を寄付は(02)両方は(03)を付記記入をお願いします。

三菱東京UFJ銀行 荻窪支店 普通 0632539 名義 西田小学校同窓会

- ※ なお、維持会費の有効期間(5年:平成25年以降納付の方)内の会員様には維持会費用振込用紙は入れておりません。有効期間が過ぎている維持会員の方には振込用紙を入れてありますので、ぜひご継続をお願いいたします。維持会費の納入状況がわからない場合はお問い合わせください。

新規ご登録、維持会費のお振込みをお待ちいたしております。

個人情報保護について

同窓会会則により個人情報保護について規定しております。

お名前、住所などの登録情報は名簿管理責任者を決め管理しております。名簿及びその他の個人情報や記事情報などは同窓会の活動(会報送付、同窓会開催、連絡)のみに使用し他への流用致しません。ぜひ名簿登録(会報発送用)にご協力ください。

メール通信網・IT活用について

現在、会員の皆様には「西田小学校同窓会会報」と「同窓会からのおたより」を発行しております。

将来は、

ITの活用を視野に入れて次世代の同窓会連絡網の構築を想定していききたいと思います。そのためにはスマートフォンが必需品となり、或いはそれに代わる新たな通信技術が整備されて、迅速かつ効率よく(コストを含めて)なることでしょう。しかしセキュリティや個人情報の保護の問題があります。

日本では規制がなく犯罪に利用されている現状から、あまりにも過剰な危険回避意識によって情報連絡が取りにくくなっています。情報を各期の世話人・幹事様に本部から情報を発信し、世話人・幹事様から登録された各期メーリングリスト先へBCCで配信する。また、会員からのメッセージは各期世話人・理事へ送られ本部が受信する。というような組織づくりを模索していきたいと思います。何年かかるかわかりませんが！！

ホームページもスマートフォン対応の方式も視野に入れて行きたいと思います。

編集後記

- 本号では今年105才でお亡くなりになられました日野原先生の記事を、生前に活動を通してお知り合いで先生のお心に触れておられた横田佳代子様(9期生)に先生を偲んで寄稿いただきました。



また、西田小学校で長く教鞭を執っておられ、生徒に人気のあった岸上修先生が8月にお亡くなりになりました。河西宏和様(10期生)に先生を偲んで寄稿いただきました。

- 皆様方からのご投稿有難うございました。同窓会の皆様と情報共有できるようにこれからも会報へのご協

力をお願い申し上げます。

■ 小学校や同窓会とは無関係の記事でも結構です。内容が多岐であれば、より楽しく読めますので是非ご投稿お願いします。

■ 広報委員は下記の方々です。(敬称略)

・編集発行責任者 田村晋一郎 2期

・広報委員長 中澤 一郎 13期

・広報委員 吉田浩二 12期、小林真人 14期、島田真理子 18期、安藤公一 19期、栗田恒雅 19期、宇田川政幸 19期、萩原伸一 20期

連絡先	■会報へのお問い合わせ	田村晋一郎 〒167-0051 杉並区荻窪 3-39-11
		メール : ys-tamura@jcom.home.ne.jp
	■会長へのお問い合わせ	中澤 一郎 〒167-0051 杉並区荻窪 4-24-14
	TEL : 03-3398-5334(FAX同)	メール : nk168ichi@jcom.home.ne.jp